

# 週報

2015年18号(4月26日～5月2日)

今年度宣教テーマ

「一人のために」(案)

ルカによる福音書15章1節～10節

< 巻頭言 >

『 小き者のひとりに 』

マタイによる福音書25章31節～46節

本日の箇所には、終末の審きにおいて、何が基準とされるのかということが、教えられています。その基準とは、「私」、すなわち、審き司であるイエス様に対して、「飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねたかどうか」です。それによって、右(永遠の命、御国の継承)か左(永遠の罰、追放)に分けられるのです。

しかし、右に置かれた人々は、「主よ、いつ私たちは、そんなことをしたでしょうか」と答えています。彼らは、イエス様にした覚えがないのです。それもそのはず。彼らは、直接イエス様にはしていないのです。彼らがした相手は、イエス様ではなく、「最も小さい者」(飢えている人、喉が渴いている人、余所者、着るものがない人、病気の人、囚人)であったのです。でも、イエス様は、そのことを、自分にしたこととして、受け止めておられるのです。

私たちは、イエス様のために、何をするでしょうか。イエス様は、「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入るのである。』(マタイ7:21)と言われます。「主のために」と思っていることが、本当に主の御心になかったこととなっているのでしょうか。本日の御言葉を通して、改めて、主の御心がどこにあるのか、私たちは何を求められているのか、考えたいと思います。

(村田悦牧師)



教会創立 1950年8月7日(教会組織)

日本バプテスト連盟 大分キリスト教会

〒870-0045 大分市城崎町2丁目6番22号

Tel/097-532-4240 Fax/529-5240 牧師 村田 悦

[http://blogs.yahoo.co.jp/oita\\_baptist\\_church](http://blogs.yahoo.co.jp/oita_baptist_church)

Mail:oitabap@violin.

ocn.ne.jp